

「困難でも継続すれば当たり前のことになる」



ロードレースに参加し始めたのは15年前。経営する塾の生徒の父親に誘われ、初心者には無謀な80キロレースに参加したのがきっかけだった。「体力、精神ともにつらいことを乗り越えてこそ、本当の喜びや楽しさが見出せた」と語る。その後友人や保護者などにも素晴らしさを伝え、国内外のレースにも積極的に参加、チームも結成した。そんな今井社長だが、ロードレーサーとしての転機が訪れる。それはあるレースでの“敗北”だったという。「私の弟子のような仲間に負けてしまって…。なぜそんなに速くなったのか?と尋ねると、早朝に走っているとの答え。それから私も早朝トレーニングを始めた」。

毎朝4時に起床。5時に百道の自宅を出発し、ロードレーサーで油山に向かう。往復30キロにも及ぶが、03年9月から欠かさことなく続け、今年7月には継続日数が2500日に。「継続は力なり。365日雨の日でも、台風の日でも続けることこそ意味がある。特別なこと、困難なことでも、続けることでそれは“当たり前”のこととなる」と語る。

名門小学校受験のための専門塾を経営し、自身も講師として第一線で活躍する今井社長。勉強はもちろんのこと、同塾で大切にしているのが「自分自身で体験し、生きる力を身につけること」。現在、体験型教育の一環として生徒や保護者が参加する「CCC(カーサ・サイクリング・クラブ)」も結成している。「私自身がそうだったように、ロードレーサーを通じて、生徒達に感動体験を伝えていけたら」と笑顔を見せた。

今井博文

㈱カーサ・フェミナ教育研究所社長

長崎市出身。1953年9月30日生まれの56歳。
名門幼稚園・小学校向け受験専門塾として「カーサ・フェミナ教育研究所」を創業、今年20周年を迎えた。

